

外国語（教科型） 学習指導案

学校名 海田町立海田小学校
授業者 HRT 結城 和夏
外国語担当 清水由美子

- 1 日時 平成29年9月12日（火） 第6校時
- 2 学年 第6学年2組 男子13名 女子16名 計29名
- 3 単元名 Dream 6-7 Welcome to Japan. 日本へようこそ
<新規 / HF2-L5 Let's go to Italy. (世界の国々, 日本の特徴) >

4 単元について

- 本単元は、自分が行きたい国や地域について紹介したり、友だちとどこに行きたいかを尋ねあつたりする活動と、日本の様々な地域の特徴やよさを紹介する活動を組み合わせた活動を通して、したいことを伝えたり、日本の文化を伝えたりする表現に慣れ親しむものである。単元の最後には、ALTの先生の希望に合う旅行先の都道府県をお勧めするプレゼンテーションを設定している。

主な使用表現として、I want to ～. という自分の思いを伝えたり、友だちとのコミュニケーションなどで頻繁に使ったりする表現を扱っている。そのため、自分がしたいことを伝えたい、友だちがしたいことを聞きたいというコミュニケーションへの関心を高め、それを適切な表現で伝えようという意欲を引き出していくことができる単元である。また、外国や日本の特徴や文化について知り、それを英語で表現する活動を通して、グローバルマインドを育成することのできる題材でもある。さらに、疑問詞 Where を扱った単元であり、英語のコミュニケーションで多く使われる「疑問詞+do you～?」の語順への慣れ親しみにつなげることができる。

I want to ～. という不定詞を用いた表現は、中学校英語科では第2学年教科書（SUNSHINE ENGLISH COURSE 開隆堂）PROGRAM 6 で学ぶ題材で、本単元で学ぶ名詞的用法は最初に学ぶ形である。特に want to ～ という表現は頻出する表現で、小学校でも今後 Dream6-10 『夢宣言』をしよう』の単元などで再出するため、本単元で正しい語順に慣れ親しませることが、今後の理解に有効につながる。

また、日本の各地域のよさを紹介するために、既習の You can ～. や It's+(様子をあらわす形容詞). という表現を使い、今までに自分や友だちなどごく身近な存在について述べていたことを、より広い視点から活用する内容となっている。

- 本学年の児童は、第1, 2学年時に年間7時間、第3, 4学年時に年間13時間、第5学年では20分と25分の短時間学習も含めた年間35時間の外国語活動を学んできている（1～4年は裁量時間）。また、第3学年からは毎日各学級で「ひとくち英語」に取り組み、外国語に触れている。6年生になってからは、「ひとくち英語」に加え、英語でのやり取りを続けることを目指す「English Time Card」への取組も行っており、帰りの会等で、テーマに沿って友達と英語での対話を行い、やりとりを5往復以上続けることを目標としている。

本学級の児童は、外国語活動に対して真面目に取り組んでおり、英会話をよく聞き取り、楽しみながら活動している児童が多い。また、ペアトークやグループトークでは、意欲的に友だちと関わ

りながら外国語でのコミュニケーションをとっている。しかし、全体の場で英語を使って発表することには消極的な児童が多く、自分で発表の仕方を工夫しながら発表することができず、形式どおりの表現になることも多い。

9月に行ったアンケート調査では、「外国語活動の学習は好きですか。」という項目で、肯定的回答をした児童が90.4%であった。また、それ以外の項目でも、おおむね肯定的回答の割合が高かった。しかし、「英語でコミュニケーションをとろうとしているか。」という項目での否定的回答が13.7%、「外国人とコミュニケーションを図りたい」という項目では否定的回答が24.4%となっており、対話やコミュニケーションに不安や苦手意識をもっている児童が少なくないことが分かった。

- 指導に当たっては、単元のゴールで見せるやり取りが、単に友達同士で行うだけのもではなく、外国からの訪問者に紹介するものであることから、より丁寧に分かりやすく、伝わりやすい表現となることを意識させる。学級担任や外国語担当がやりとりのモデルを示し、話す内容だけでなく、話し方や表情なども含めたコミュニケーションの望ましい姿を見せることで、児童のコミュニケーションの態度の育成を図る。

地域のよさを紹介する表現では、**can** や様子を表す形容詞等の既習表現を活用し、さらに和英辞典等を使って自分が伝えたいことを英語で表現させることを通して、自分が話したり書いたりした英語が相手に伝わるといふ喜びを味わわせて学びに向かう姿勢を育てていく。そして、学級担任が積極的に英語を使おうとすることで、児童が間違いを恐れず進んでコミュニケーションを図ろうとする雰囲気作りを行っていく。

4技能（5領域）を統合した指導として、まずは本単元で用いる語句や表現を繰り返し「聞く」「話す」活動を数多く設定し、それらを用いた自己表現活動やコミュニケーション活動を行うことで、音声面で十分に慣れ親しませる。その際に単語や表現を4線上に表記したカードを並べて提示することで、単語の形の正確な把握や、語順への気付きを促す。その上で表現を書き写したり、自分で調べたり選んだりした語を用いて文を完成させたりする取り組ませることで、音声から文字へと慣れ親しみを深めていく。

また、今年度は研究の副題を、「音声と文字との関連への気付きと、主体的な英語でのやり取りを通して」とし、全ての単元を通して音声と文字との関連への気付きを促すジングル等の帯活動と、発話に対して反応の言葉を添えてやり取りを行う対話活動に取り組んでいる。日常的な応答や交流活動においては、友達や指導者の発話に対しての、**Me, too. / Me, neither. / Really? / Wow!** などの反応する言葉や、物を渡す時の **Here you are. / Thank you.** などの表現が自然に出てくるようになってきている。本単元でも、問いかけに対して答えるだけの一方通行のやり取りではなく、反応や感想、問い返しなどをして話を続けることを促し、児童が間違いを恐れず英語で話すことのできる雰囲気作りを意識して進めていく。

5 単元の目標

- 行きたい国や地域、我が国の文化や特徴について、他者に配慮しながら自分の考えを含めて伝え合おうとする。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 行きたい国や地域、我が国の文化や特徴について説明したり、その理由など自分の考えを含めて伝え合ったりする。 【外国語への慣れ親しみ】

- 行きたい国や地域，我が国の文化や特徴について，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを読んだり，他者に伝えるなどの目的をもって書き写したりする。

【外国語への慣れ親しみ】

- 日本や世界の国々の特徴やそれぞれのよさに気付く。

【言語や文化に関する気付き】

6 単元の評価基準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
・行きたい国や地域，我が国の文化や特徴について，他者に配慮しながら自分の考えを含めて伝え合おうとしている。	・行きたい国や地域，我が国の文化や特徴について説明したり，その理由など自分の考えを含めて伝え合ったりしている。 ・行きたい国や地域，我が国の文化や特徴について，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを読んだり，他者に伝える目的をもって書き写したりしている。	・日本や世界の国々の特徴やそれぞれのよさに気付いている。

7 使用表現・語彙

【主な使用表現・語彙】

- ・ Where do you want to go? I want to go to (Italy).
- ・ Why? Because I want to see/go to/visit (Rome).
- ・ I want to eat (spaghetti). I want to buy (a soccer ball). ・ It's (cool). You can (play soccer).
- ・ Welcome to (Japan). (Kabuki) is (Japanese culture).
- ・ What is your favorite (Japanese culture)? I like/enjoy (Rakugo). I can play the (Koto).
- ・ 国 (Italy, Germany, Canada, America, Spain, France, Brazil, China, Korea, Russia, Egypt, India) ・ 状態を表す語 (beautiful, delicious, exciting, cute)
- ・ 施設 (museum, temple, shrine, park, zoo, bridge) ・ 日本文化を表す語 (festival, firework, party)

【繰り返しの使用表現・語彙】

- ・ I like (soccer). ・ Do you like (soccer)? Yes, I do. / No, I don't. I don't like (soccer).
- ・ What (sport) do you like? I can (play soccer well).
- ・ 動作，状態や気持ちを表す語，スポーツ，飲食物，季節

8 単元計画（8時間【（1，3，4，5，6，8時）6時間＋（2，7時）6モジュール（15分）】）

時	目標と主な活動	評価				
		コ	慣	気	評価規準	評価方法
1	○行きたい国や地域について説明したり，その理由など自分の考えを含めて伝え合ったりする。 行きたい国をたずねたり答えたりしよう。 ※この単元で取組む課題を知り，単元の見通しをもつ。 ・「世界地図を見てみよう。」 ・【Jingle】 Countries (Hi, friends! Plus)		○		・行きたい国や地域について説明したり，その理由など自分の考えを含めて伝え合ったりして	行動観察，ワークシート点検，振り返りカード分析

	<ul style="list-style-type: none"> ・「行きたい場所について尋ねたり答えたりする表現を練習しよう。」 ・【Chant】 Where do you want to go? (オリジナル) ・「自分が行ってみたい国を言おう。」 ・「行きたい国を尋ねたり答えたりしよう。」 			いる。	
2	<p>○日本や世界の国々の特徴やそれぞれのよさに気付く。 ○行きたい国や地域について説明したり, その理由など自分の考えを含めて伝え合ったりする。</p> <p>いろいろな国のおすすめポイントを知ろう。</p> <p>A ・「国当てゲーム (3ヒントクイズ)」 ・「いろいろな国のおすすめポイントを知ろう。」</p> <p>自分が行きたい理由を言おう。</p> <p>B ・【Chant】 Let's go to Italy. ② ・「自分が行きたい国とその理由を言おう。」</p> <p>なぜ行きたいかをたずねたり答えたりしよう。</p> <p>C ・【Chant】 Let's go to Italy. ② ・「友達に行きたい国とその理由を尋ねよう。」</p>		○	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や世界の国々の特徴やそれぞれのよさに気付いている。 ・行きたい国や地域について説明したり, その理由など自分の考えを含めて伝え合ったりしている。 	<p>行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析</p>
3 本 時	<p>○日本や世界の国々の特徴やそれぞれのよさに気付く。 ○行きたい国や地域, 我が国の文化や特徴について説明したり, その理由など自分の考えを含めて伝え合ったりする。</p> <p>ダニエル先生におすすめしたい県の情報を集めて, 伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【Jingle】 Countries (Hi, friends! Plus) ・【まとまりのある話を聞く活動】 「ダニエル先生のメッセージを聞こう。」 ・「どうやって情報を集めるか考えよう。」 ・【Chant】 Where do you want to go? (オリジナル) ・「自分ならどこに行きたいかやその理由を, たずねたり答えたりしよう。」 ・「先生や友達にインタビューして, 情報を集めよう。」 ・「グループで情報を交流して, 自分がダニエル先生におすすめしたい県とその理由を言おう。」 		○	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や世界の国々の特徴やそれぞれのよさに気付いている。 ・行きたい国や地域, 我が国の文化や特徴について説明したり, その理由など自分の考えを含めて伝え合ったりしている。 	<p>行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析</p>
4	<p>○行きたい国や地域, 我が国の文化や特徴について, 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを読んだり, 他者に伝えるなどの目的をもって書き写したりする。</p> <p>自分たちが伝えたい表現を調べ, 構成メモを作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【Chant】 Let's go to Italy. ③ ・「グループでおすすめしたい県を確認しよう。」 		○	<ul style="list-style-type: none"> ・行きたい国や地域, 我が国の文化や特徴について, 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを 	<p>行動観察, ワークシート点検, 振り返りカード分析</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・【Chant】 Let's go to Hiroshima. (オリジナル) ・「おすすめのポイントを英語でどう伝えればよいか考えよう。」 ・「英語でプレゼンの構成メモを作ろう。」 			読んだり，他者に伝える目的をもって書き写したりしている。	
5	<p>○行きたい国や地域，我が国の文化や特徴について，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを読んだり，他者に伝えるなどの目的をもって書き写したりする。</p> <p>プレゼンの原稿を完成させよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【Chant】 Let's go to Hiroshima. (オリジナル) ・「構成メモを元に，プレゼンの原稿を完成させよう。」 ・「発表の仕方を考えよう。」 	○		<ul style="list-style-type: none"> ・行きたい国や地域，我が国の文化や特徴について，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを読んだり，他者に伝える目的をもって書き写したりしている。 	行動観察，プレゼン原稿評価，振り返りカード分析
6	<p>○行きたい国や地域，我が国の文化や特徴について，他者に配慮しながら自分の考えを含めて伝え合おうとする。</p> <p>○我が国の文化や地域の特徴について，自分の考えを含めて伝え合う。</p> <p>プレゼンを交流し，より伝わりやすい工夫を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【Chant】 Let's go to Hiroshima. (オリジナル) ・「プレゼンの練習をしよう。」 ・「他のグループと，プレゼンを見せ合い，お互いにアドバイスをしよう。」 ・「アドバイスを参考にして，より伝わりやすい工夫を考えよう。」 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・行きたい国や地域，我が国の文化や特徴について，他者に配慮しながら自分の考えを含めて伝え合おうとしている。 ・我が国の文化や地域の特徴について，自分の考えを含めて伝え合っている。 	行動観察，プレゼン原稿評価，パフォーマンス評価，振り返りカード分析
7	<p>○行きたい国や地域，我が国の文化や特徴について，他者に配慮しながら自分の考えを含めて伝え合おうとする。</p> <p>○行きたい国や地域，我が国の文化や特徴について，他者に伝えるなどの目的をもって，書かれたものを読んだり書き写したりしようとする。</p> <p>プレゼンをより分かりやすいものに工夫しよう。</p> <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「プレゼンの内容を見返して，より分かりやすいものに工夫しよう。」 <p>相手に伝わりやすいプレゼンの仕方を考えよう。</p> <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「相手に伝わりやすいプレゼンの仕方を考えよう。」 ・「グループでプレゼンの練習をしよう。」 <p>プレゼン発表会の練習をしよう。</p> <p>C</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「プレゼン発表会のリハーサルをしよう。」 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・行きたい国や地域，我が国の文化や特徴について，他者に配慮しながら自分の考えを含めて伝え合おうとしている。 ・行きたい国や地域，我が国の文化や特徴について，他者に伝えるなどの目的をもって，書かれたものを読んだり書き写したりしようとしている。 	行動観察，プレゼン原稿評価，振り返りカード分析

8	<p>○行きたい国や地域，我が国の文化や特徴について，他者に配慮しながら自分の考えを含めて伝え合おうとする。</p> <p>○我が国の文化や地域の特徴について，自分の考えを含めて伝え合う。</p> <hr/> <p>「6-2 Travel Agency プレゼンテーション」をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【Chant】 Let's go to Hiroshima. (オリジナル) ・「6-2 Travel Agency プレゼンテーション」 ・「自分ならどこに行きたいと思ったか交流しよう。」 ・「ダニエル先生に評価してもらおう。」 <p>●単元ふり返しカードの記入</p> <p>※内容面と言語面について振り返る。</p>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・行きたい国や地域，我が国の文化や特徴について，他者に配慮しながら自分の考えを含めて伝え合おうとしている。 ・我が国の文化や地域の特徴について，自分の考えを含めて伝え合っている。 	<p>行動観察，プレゼン原稿評価，パフォーマンス評価，振り返りカード分析</p>
---	--	---	---	--	--

9 本時の学習

(1) 本時の目標

- 日本や世界の国々の特徴やそれぞれのよさに気付く。
- 我が国の文化や地域の特徴について，自分の考えを含めて伝え合う。

(2) 本時の評価規準

- ・日本や世界の国々の特徴やそれぞれのよさに気付いている。
- ・我が国の文化や地域の特徴について，自分の考えを含めて伝え合っている。

(3) 使用表現・語彙

【主な使用表現・語彙】

- ・ Where do you want to go? I want to go to ~.
- ・ Why? Because I want to [see / eat / do] ~.
- ・ 施設 (museum, temple, shrine, park, zoo, bridge) ・ 日本文化を表す語 (festival, firework, party)

【繰り返しの使用表現・語彙】

- ・ I like (soccer). ・ Do you like (soccer)? Yes, I do./No, I don't. I don't like (soccer).
- ・ 動作，状態や気持ちを表す語，スポーツ，飲食物，季節

(4) 準備物

タブレット【デジタル教材 (Hi, friends! 2, Hi, friends! Plus), ICT教材】，メッセージビデオ，教師用絵カード，表現カード，ワークシート，各県の観光パンフレット

(5) 本時の学習展開

過程	学習活動	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て	評価基準 [評価方法]
導 入	<p>○挨拶をする。 ・挨拶をする。(指導者と・ペアで) ・曜日, 日付, 天気を言う。</p> <p>○【Jingle】 Countries (Hi, friends! Plus) ・デジタル教材を見ながら言う。</p> <p>○【まとまりのある話を聞く活動】 「ダニエル先生のメッセージビデオを見て, どんなことをしたいと話しているのか考えよう。」 ・ダニエル先生からのメッセージビデオを見る。</p>	<p>◇はっきりとした声で, 気持ちのよい挨拶を交わす。</p> <p>◇アルファベットの読み方と音の関係に気付かせるように, 英語らしい音を意識しながら一緒に言う。</p> <p>◇広島県に住んで何年かたつが, まだあまり他の県に行ったことがないので, お勧めの県を教えて欲しいという内容のメッセージビデオを事前に撮影させてもらい, 児童の主体的な学習のきっかけとする。</p>	
	<p>【メッセージの内容】 Hello. I'm Daniel. I live in Hiroshima for ○ years. I visited many places in Hiroshima prefecture. So I want to travel other prefectures. I want to see beautiful places. I want to eat delicious food. And I want to enjoy with my daughter, Berry-chan. Where is the best prefecture to go? Please tell me.</p> <p>・ダニエル先生が頼んでいることはどのような内容だったかなど, 分かったことや聞こえた英語を発表する。</p> <p>○本時のめあてを立てる。</p>	<p>◇県名を例示して'prefecture'の意味を確認する。 ◆児童から出た表現のカードを提示して, 確認していく。</p>	
展 開	<p>○「どうやって情報を集めるか考えよう。」 ・どのように情報を集めればよいかをペアで話し合い, 発表する。 *本やインターネットで調べる *先生や友達に聞く ・指導者のモデルを見て, どのように尋ねればよいかを知る。</p>	<p>◇ダニエル先生の要望から, どのような情報が必要かを意識させる。</p>	

【指導者のやり取りを聞く活動】

T1: Excuse me. Where do you want to go? T2: I want to go to Hiroshima.

T1: Why? T2: Because I want to see Itsukushima Shrine. (写真を見せる)

I want to eat oysters. And I want to watch a baseball game.

T1: Oh, nice! Thank you. T2: You're welcome.

○【Chant】Where do you want to go?
(オリジナル)

- ・指導者がペアで質問, 答えにわかれチャンツを言って見せる。
- ・児童が質問側、指導者が答える側でチャンツを行う。その逆を行う。

○「自分ならどこに行きたいかやその理由を、たずねたり答えたりしよう。」

- ・数名の児童が指導者の質問に答える。

◇リズムに乗って言えるように合図を出しながら言う。

◇理由を答える表現を板書で再度示し、どれか一つでいいので選んで答えるようにさせる。

【指導者と児童のやり取りを聞く活動】

T1: Now, it's your turn. Excuse me, ○san. Where do you want to go?

S: I want to go to Tokyo. T1: Why?

S: Because I want to see Tokyo Sky Tree.

T1: Oh, me too! Thank you. S: You're welcome.

- ・自分だったらどこに行きたいかを、理由を一つ以上添えてグループ内で交流する。

○「先生や友達にインタビューして、情報を集めよう。」

- ・先生たちが色々な情報を持っていることや、観光パンフレットがあることを知る。
- ・班で色々な情報を集めることができるように、どの先生に聞きに行くか相談をして、担当を決める。
- ・2グループずつ先生にインタビューをしに行く。他の児童は他のグループの友達とお互いにインタビューし合う。

◆机間指導を行い、うまくやり取りのできていないグループのそばに行って言い方を教えるなどの支援を行う。

◇事前に5人の先生には、色々な県(北海道・静岡・京都・福岡・沖縄)のおすすめポイントを答える準備をお願いしておき、他の先生たちにも、パンフレットから選んで答えてもらう。

◇それぞれの情報を各班に持ち帰って共有することを伝え、説明できるようにワークシートにメモすることや、できるだけたくさんの友だちと交流するように声をかける。

◆机間指導を行い、うまくやり取りのできていない児童のそばに行って言い方を教えるなどの支援を行う。

・日本や世界の国々の特徴やそれぞれのよさに気付いている。

【気】[行動観察, ワークシート・振り返りカード分析]

<p>○「グループで情報を交流して、自分がダニエル先生におすすめしたい県とその理由を言おう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班に戻って情報を交流する。 ・いろいろな情報を聞いたうえで、自分ならどの県をダニエル先生におすすめするかを考え、第3候補までをワークシートに記入する。 	<p>◇情報をくれた人物になったつもりで、”I want to ～.” という表現を使って交流するように伝える。</p> <p>◆机間指導を行い、交流がうまくできていない班のそばに行って支援を行う。</p>	<p>・行きたい国や地域、我が国の文化や特徴について説明したり、その理由など自分の考えを含めて伝え合ったりしている。</p>
<p>★【めざす子どもの姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行きたい県とその理由を尋ねたり答えたりすることができる。 <p>A: Excuse me. Where do you want to go? B: I want to go to Okinawa. A: Why? B: Because I want to see Shuri-jo. I want to eat Okinawa-soba. And I want to swim in the sea. A: That's good. Thank you. B: You're welcome.</p>		<p>【慣】[行動観察, ワークシート・振り返りカード分析]</p>
<p>○本時の活動をふり返る。</p> <p>○挨拶をする。</p>	<p>◇Why, Because, see, eat, doなどの表現に触れてまとめを書けるようにする。</p> <p>◇次時からは、おすすめする県が同じ児童でグループを作り、プレゼンの準備をすることを伝える。</p>	

(6) 板書計画

